



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月28日

上場会社名 四国化成工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4099 URL <http://www.shikoku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 兼 C. E. O. (氏名) 山下 矩仁彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 企画・管理担当 (氏名) 富田 俊彦

TEL 0877-22-4111

四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	34,492	10.4	4,520	15.9	4,969	21.8	3,208	30.3
25年3月期第3四半期	31,246	3.3	3,901	2.7	4,080	6.8	2,461	19.4

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 4,430百万円 (89.3%) 25年3月期第3四半期 2,339百万円 (37.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	54.90	—
25年3月期第3四半期	42.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	66,498	45,418	67.9
25年3月期	64,304	41,694	64.5

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 45,170百万円 25年3月期 41,466百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	6.00	11.00
26年3月期	—	6.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,000	8.2	6,200	17.8	6,400	15.9	4,000	25.0	68.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	58,948,063 株	25年3月期	58,948,063 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	503,333 株	25年3月期	500,462 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	58,446,098 株	25年3月期3Q	58,452,392 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	4
(4) 追加情報.....	4
3. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	9
(継続企業の前提に関する注記).....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記).....	9
(セグメント情報等).....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の下振れ懸念や消費税増税等による不確実性は残るものの、世界的な金融緩和や政府主導の積極的な経済対策を背景に、企業収益の改善や個人消費の持ち直しの動きが見られ、緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年12月31日）の売上高は344億92百万円（前年同期比10.4%の増収）となりました。

また、利益面におきましても、営業利益は45億20百万円（前年同期比15.9%の増益）、経常利益は49億69百万円（前年同期比21.8%の増益）、四半期純利益は32億8百万円（前年同期比30.3%の増益）と、いずれも前年を上回る結果となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①化学品事業

（無機化成品）

ラジアルタイヤ向け原料である不溶性硫黄は、輸出が好調に推移したことに加え、円安の影響により収益性も向上しました。レーヨン・セロハン向けの二硫化炭素は、輸出が好調に推移しました。浴用剤・合成洗剤向けの無水芒硝は、調達価格の上昇により収益性が低下しました。

（有機化成品）

殺菌消毒剤シアヌル酸誘導品は、円安の影響により収益性が改善しました。排水処理剤ハイポルカは市場開拓と収益性の改善に注力しました。

（ファイン ケミカル）

プリント配線板向けの水溶性防錆剤であるタフエースは、販売量が伸び悩みましたが、円安の影響により収益は順調に推移しました。エポキシ樹脂硬化剤を主用途とするイミダゾール類は、輸出を中心に販売が好調に推移したことに加え、円安の影響により収益性が向上しました。

この結果、化学品事業の売上高は209億16百万円（前年同期比14.1%の増収）、セグメント利益は41億22百万円（前年同期比32.7%の増益）と、いずれも前年を上回りました。

②建材事業

（壁材）

湿式壁材市場の停滞により、内装材を中心に低調に推移しました。

（エクステリア）

民間工事、官公庁工事等の建設工事受注や新設住宅着工の持ち直しを背景に、住宅分野、景観分野ともに、前年を上回る水準で推移しましたが、資材価格の高騰などにより収益性が低下しました。

この結果、建材事業の売上高は129億円（前年同期比4.6%の増収）と、前年を上回りましたが、セグメント利益は15億30百万円（前年同期比14.4%の減益）となりました。

〔参考情報〕

【販売実績】

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	前年同期比(%)
化学品事業			
無機化成品 (百万円)	6,989	8,611	123.2
有機化成品 (百万円)	5,252	5,939	113.1
ファイン ケミカル (百万円)	6,085	6,365	104.6
小計 (百万円)	18,327	20,916	114.1
建材事業			
壁材 (百万円)	1,925	1,906	99.0
エクステリア (百万円)	10,413	10,994	105.6
小計 (百万円)	12,339	12,900	104.6
報告セグメント計 (百万円)	30,666	33,817	110.3
その他 (百万円)	579	675	116.5
合計 (百万円)	31,246	34,492	110.4

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

【海外売上高】

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	
	売上高 (百万円)	連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)	売上高 (百万円)	連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)
アジア	5,440	17.4	7,123	20.7
北米	2,748	8.8	3,333	9.7
その他の地域	596	1.9	975	2.8
合計	8,785	28.1	11,433	33.1
連結売上高	31,246		34,492	

(2) 財政状態に関する説明

(資産・負債及び純資産の状況)

総資産は、前連結会計年度末比21億93百万円増加し、664億98百万円となりました。主な増加は、投資有価証券20億42百万円、現金及び預金7億19百万円、主な減少は、受取手形及び売掛金6億53百万円であります。

負債は、前連結会計年度末比15億29百万円減少し、210億79百万円となりました。主な減少は、支払手形及び買掛金4億91百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末比37億23百万円増加し、454億18百万円となりました。主な増加は、利益剰余金25億7百万円、その他有価証券評価差額金11億21百万円であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の64.5%から67.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想は、平成25年7月26日に公表いたしました平成26年3月期通期の連結業績予想を変更しておりません。なお、主要な為替レートは、95円/米ドル、120円/ユーロと想定しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

役員退職慰労金制度の廃止

当社は、平成25年6月25日開催の第93回定時株主総会において、役員報酬体系の見直しの一環として、役員退職慰労金制度廃止に伴う打ち切り支給（支給の時期は各取締役及び監査役の退任時）を決議いたしました。

これに伴い、第1四半期連結会計期間において、当社の役員退職慰労引当金全額を取り崩し、打ち切り支給に伴う未払額2億62百万円を固定負債のその他に含めて表示しております。

なお、当社の連結子会社については、役員退職慰労金制度が存続しており、役員の退職慰労金の支給に備えるため、内部規程に基づく当第3四半期連結会計期間末要支給額を役員退職慰労引当金に計上しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,041	10,761
受取手形及び売掛金	14,308	13,654
商品及び製品	6,108	6,208
仕掛品	94	122
原材料及び貯蔵品	2,131	2,185
繰延税金資産	739	744
その他	72	152
貸倒引当金	△7	△3
流動資産合計	33,489	33,825
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,942	5,042
機械装置及び運搬具(純額)	3,579	4,048
土地	8,325	8,379
建設仮勘定	637	225
その他(純額)	438	459
有形固定資産合計	17,923	18,156
無形固定資産	246	371
投資その他の資産		
投資有価証券	11,158	13,200
繰延税金資産	881	302
その他	616	656
貸倒引当金	△11	△14
投資その他の資産合計	12,645	14,144
固定資産合計	30,814	32,672
資産合計	64,304	66,498

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,973	8,481
短期借入金	1,950	1,975
1年内返済予定の長期借入金	757	369
未払法人税等	1,105	697
役員賞与引当金	63	46
その他	3,649	3,542
流動負債合計	16,498	15,111
固定負債		
長期借入金	1,798	1,613
繰延税金負債	0	50
再評価に係る繰延税金負債	1,549	1,549
退職給付引当金	1,887	1,808
役員退職慰労引当金	322	68
資産除去債務	346	347
その他	206	529
固定負債合計	6,110	5,968
負債合計	22,609	21,079
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,867	6,867
資本剰余金	5,741	5,741
利益剰余金	26,469	28,977
自己株式	△294	△296
株主資本合計	38,785	41,290
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	861	1,983
繰延ヘッジ損益	△69	△62
土地再評価差額金	2,080	2,080
為替換算調整勘定	△190	△121
その他の包括利益累計額合計	2,681	3,879
少数株主持分	227	248
純資産合計	41,694	45,418
負債純資産合計	64,304	66,498

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	31,246	34,492
売上原価	19,895	21,560
売上総利益	11,351	12,931
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	2,270	2,632
広告宣伝費	458	479
給料	1,397	1,455
役員賞与引当金繰入額	41	46
退職給付費用	142	163
役員退職慰勞引当金繰入額	33	17
研究開発費	759	857
その他	2,345	2,756
販売費及び一般管理費合計	7,450	8,410
営業利益	3,901	4,520
営業外収益		
受取利息	9	11
受取配当金	243	358
為替差益	24	168
雑収入	18	35
営業外収益合計	296	573
営業外費用		
支払利息	26	18
売上割引	88	87
雑損失	3	18
営業外費用合計	117	124
経常利益	4,080	4,969
特別利益		
固定資産売却益	—	0
受取保険金	50	—
新株予約権戻入益	39	—
特別利益合計	90	0
特別損失		
固定資産除却損	21	38
減損損失	43	—
投資有価証券評価損	87	—
特別損失合計	152	38
税金等調整前四半期純利益	4,017	4,932
法人税等	1,544	1,713
少数株主損益調整前四半期純利益	2,473	3,218
少数株主利益	11	10
四半期純利益	2,461	3,208

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,473	3,218
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△124	1,134
繰延ヘッジ損益	△34	7
為替換算調整勘定	26	69
その他の包括利益合計	△133	1,211
四半期包括利益	2,339	4,430
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,330	4,406
少数株主に係る四半期包括利益	9	23

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化学品事業	建材事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	18,327	12,339	30,666	579	31,246	—	31,246
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	—	2	160	162	△162	—
計	18,329	12,339	30,669	740	31,409	△162	31,246
セグメント利益	3,107	1,787	4,894	66	4,960	△1,059	3,901

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業及びフード事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,059百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,059百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化学品事業	建材事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	20,916	12,900	33,817	675	34,492	—	34,492
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	—	1	176	178	△178	—
計	20,917	12,900	33,818	851	34,670	△178	34,492
セグメント利益	4,122	1,530	5,653	65	5,718	△1,197	4,520

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業及びフード事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,197百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,197百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。